

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成 29 年度第 2 回 高松市図書館協議会
開催日時	平成 30 年 2 月 28 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	サンクリスタル高松 3 階 第 1 集会室
議 題	(1) 平成 30 年予算（案）及び事業計画（案）について (2) 図書館システムの改修について (3) 相互貸借に係る郵送料等について (4) 図書館運営・管理事業に係る指定管理者制度について (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針に基づく
出席委員	澤田委員，西村委員，笠井委員，片山委員，池西委員，岡田委員 橋本委員，松浦委員，藤本委員，水谷委員，堀尾委員
傍 聴 者	4 人
担当課連絡先	中央図書館 861-4501

### 審議経過及び審議結果

<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>○議題 1 平成 30 年度予算（案）及び事業計画（案）について ・説明を行った。 意見無し。</p> <p>○議題 2 図書館システムの改修について ・説明を行った。 質問 現状のシステムを使い始めてどれくらいの期間になるのか。 回答 5 年毎に更新はしているが、現在のシステムは約 10 年になる。</p> <p>○議題 3 相互貸借に係る郵送料等について ・説明を行った。 意見無し。</p> <p>○議題 4 図書館運営・管理事業に係る指定管理者制度について ・説明を行った。 意見 指定管理者制度にしなくても、今のサービスをそのまま継続するのであれば直営でも十分できるのではないか。 意見 経費が節減できるとしたらどんなところなのか。その結果、現状である程度抑えられるのであれば、指定管理者制度にする必要はないのではないか。 回答 実際のところは本当に経費の節減になるのかは分からないが、図書館としては現状のまま継続して直営を続け、図書館として今求められているサービスを行っていきたい。 意見 費用対効果はあまり変わらないのではないか。人件費は若干下がるかもしれないが、サービスや知識の低下も考えられる。今まで高松市として培ってきた図書館のあり方が変わることに対していかがなものか。 意見 民間とは違い、気軽に公共の場と関わるのが図書館だと思うので、時代の流れによって安易には導入できないところがあることを知って頂きたい。 意見 子ども達に対して、業務的に本の貸し借りをするだけでなく、カウンターの人と深く関わりを持ち、人間的な触れ合いというものを大切にしたい。 回答 皆様の意見の後押しを頂いて、指定管理者制度については市の直営でやっていき、図書館では運営方針に沿った運営をしていきたい。 意見 例えば施設が老朽化や耐震化を考えて立て直さないといけない時、指定管理者制度 PFI の導入を考えていくという方向はないのか。 回答 PFI については施設に係る費用を民間に委託することで十分考えられることではないかと思っている。PFI というのは現在色々な公共施設で運営決定のひとつとして進めていることから、建て替えの時期には十分考えていく必要がある。</p> <p>○議題 5 その他 ・質疑応答無し。</p> <p>3 閉会</p>
---